

豊浜の子 明るく 正しく 強く

学校教育目標 **挑戦し 高め合う子**

校長から豊浜っ子の皆さんへ

11月のめあての話 R2.11.2



みなさんはこの人を知っていますか。

今から250年前に生まれた作曲家です。そう「ベートーベン」ですね。この人の名前は、皆さんも良く知っていると思いますが、たくさんの素晴らしい曲を書いて、今でも世界中の人に愛されています。

このベートーベンはメモをとることを習慣にしている、たくさんのメモが今も残っています。ある時ベートーベンを研究している人がそれらを調べていたら、びっくりすることを発見しました。それがこれです。

36を4回足す計算をしています。この計算は正しいですか。そうです。間違っていますね。本当の答えは144ですがベートーベンの答えは224になっています。実は、天才ベートーベン、計算が苦手だったのです。さらに掛け算はできなかったのではないかとされています。



今年度、初の体育館での朝会です。姿勢よく静かに聞いています。

子供のころのベートーベンは、一人前の音楽家になるために、家の人にピアノの練習を夜遅くまでさせられて、それ以外の勉強をする時間があまりありませんでした。学校にも行ってなかったかもしれません。ベートーベンは天才作曲家になりましたが、勉強していないことは、いくら天才でも苦手のままなのです。

みなさん、よく聞いてください。**学校で勉強する内容で、皆さんが大人になってから無駄になることは一つもありません。**逆に、学校で身に付けなかったことは、ベートーベンの計算のように、いつまでも苦手なものになってしまいます。

今日から11月、月のめあては「**じっくりと学習に取り組もう**」です。学習で自分の得意なことを伸ばし、苦手なことをなくしていく。そのためにどのようにがんばればいいのか、この後、金原先生に教えてもらいます。

みなさんよく聞いてくださいね。 これでお話を終わります。

11月のめあて 「じっくりと学習に取り組もう」

～学習部長 金原教諭の話（要約）～

- 持ち物をそろえよう。 筆箱や道具箱の中をきれいにします。
- 姿勢をよくしよう。 聞くとき・発表するとき、静と動のある姿で授業に集中します。
- 対話をしよう。 友達の話をよく聞き、自分の考えを友達と伝え合い、学級みんなの力を高め合います。



< 新しいこと・感動・感謝いっぱいの運動会 10月18日 >

コロナ禍により新しい生活様式を求められている中、運動会もその変化に対応しての実施となりました。

計画当初は戸惑いましたが、本校では、「新しいことがいっぱいを楽しむ」と前向きにとらえ、声の出し方や密にならない場の工夫をしながら取り組みました。子どもたちの笑顔や真剣な表情は地域の宝です。不安な日々



フィールドで行う種目では写真撮影エリアを設け、密にならずにお子さんの様子を近くで見られるように場の工夫をしました。



保護者のみなさんの協力で、競技を止めることなく、レーンの補修ができました。ありがとうございました。



地域づくり協議会より、芝刈機と簡易テントを寄贈していただきました。大切に使用させていただきます。

光と感動を与えてくれました。変化を受け入れつつ前に進む大切さや頼もしさを表現できた運動会だったと振り返ります。

雨でぬかるんだ競技レーンへの土入れや閉会式後の片付け等に保護者の皆様が率先して手助けしてくださいました。また、地域づくり協議会からは運動場整備のため芝刈機とテントを寄贈していただきました。感謝いたします。コロナ禍ではありますが、学校・家庭・地域のつながりは、より深く、密となった運動会でした。



< 修学旅行に行ってきました 10月26・27日 >

実施が危ぶまれた修学旅行でしたが、目的地を富士・山梨方面に変更し、実施することができました。運動会同様、新しいことがいっぱいでしたが、天気にも恵まれ、楽しい思い出づくりができました。



富士山世界遺産センター前より

< よりよい授業を目指して >

学びの秋となり、職員の研究授業を積極的に行っています。豊浜小では、『学びを「自分ごと」として深めていく子』の育成を目指して授業改善に取り組んでいます。

9月の研究授業では、子供たちがその時間に解決したい課題をしっかりと受け止められるめあての工夫や、子どもたちがじっくり考えたり、考えを伝え合ったりする時間（自分ごとタイム）の確保について意見が出されました。

